



プラス「UPIC(ユーピック)」  
9万2400円

●パネル有効サイズ=幅1130×高さ845mm、シートの厚さ=約0.4mm、質量=約1.6kg。(56型の場合) 動作環境=対応OS: XP、Vista 32bit版、CPU: Pentium4以上、メモリー: 512MB以上、HDD: 200GB以上、デバイス: Bluetooth。ラインアップ=56型、64型(11万3400円)、72型(13万4400円)。※写真は56型。7月初旬発売予定。

シート状のパネルを壁に貼り付けるだけで、  
あら不思議、スクリーン上でパソコン操作ができる!!

**お手軽 but ハイテク**  
**ワイヤレス  
インタラクティブボードで  
プレゼンの  
達人になれるか!?**



薄いボディに濃厚な機能を搭載。ホワイトボード、プロジェクター、投影スクリーン、パソコン操作の3つの機能を持つワイヤレスインタラクティブボードで、プレゼン力を高める!

ミヤザワ うわっ、白昼堂々スナイパーがウロウロしてる!! ってオビツかよ、紛らわしいぞー! (1) オビツ フツー間違えませんよ! これからこの「UPIC」を持ってプレゼンに行くんです。  
ミヤザワ プレゼンっておまえ、なんでライフルが必要なんだ? オビツ 脅して納得させ……違います!! この付属キャリングバッグの中に、円筒形のケースに入ったシート状のパネルやデジタルペン、赤と黒のマーカー、イレイザーが収納されているんです (2)。ちなみにシート状のパネルの裏側にはマグネットが付いているので、スチール製の壁などにすぐに設置できます (3)。  
ミヤザワ おいおい、プレゼンでわざわざパネルを持ち込む必要があんのか?  
オビツ じつはこれ、ホワイトボードにもなるし、56型のプロジェクターのスクリーンにもなる、そのうえパソコンの操作もできるという1台3役の「インタラクティブボード」なんですよ!  
ミヤザワ インタラクティブって双方向って意味だよな?  
オビツ そうです。このパネルにプロジェクターでパソコン画面を

チェックする人

ジョブズ・ミヤザワ

締め切り厳守でライター陣を驚え上がらせる鬼編集者。どんな達人がプレゼンしようが、「言い訳のプレゼン」には聞く耳持たず。

バワポ・オビツ

体を張った内容のないプレゼンが特技のライター。企画が通らないのはパソコンを多用しないからだ。とスキルのなさを楯に上げている。

投影。デジタルペンを使ってパネル上をクリックすればパソコンが操作できるんです (4)。  
ミヤザワ でも、パソコンへは線がつかってないようだけども……オビツ ちっ、ちっ、ちっ。デジタルペンに内蔵されたブルートゥースを使うんですよ。じつはこのパネルには特殊なドットが印刷されています。ここにデジタルペンの先端が触れると、ペン先に搭載された小型カメラが1・8mm×1・8mm範囲内の360°を、約75回/秒の速さで撮影。この情報が送信され、ブルートゥース対応のパソコンでデータを処理して位置を割り出すんです (5)。  
ミヤザワ ペンの位置や軌跡をすぐにデジタル情報に変換するってわけか。なんか聞いたことあるなオビツ そうです、スウェーデンのアノト社の技術です。これを使えば、スクリーンの前にいながら自分でバワポを操作したり、ファイルを開いたりできるんです。  
ミヤザワ プロジェクターを使ったプレゼンだと、人にパソコンを

# EDITOR'S CHOICE



## メーカー広報 担当者より



プラスビジョン  
営業部 営業開発室  
井口 和氏

一般的になじみが薄いインタラクティブボードですが、じつは学校などの教育現場では多く活用されています。とくにアメリカやイギリスなどでは、このような機器を利用した授業が盛んで、世界的な市場規模は当社の推定で2010年に100万台にまで達すると予想しています。日本でも同じく教育市場が約9割以上占めていますが、今後はビジネス市場にもニーズが拡大すると予想されます。そこで開発したのがこの「LUPIC」です。いままでの製品は重厚なボード形状で移動や収納が困難なものが多く、さらにケーブル接続を必要とするものや高額なものなど、一般的な使い勝手に難がありました。これらを改善することで、だれでも手軽に使えるビジネスツールとしての製品化が実現できたのです。

操作してもらわなきゃならないからタイミングが合いにくいもんな。「次のページ、お願いします」とか、なんかスマートじゃないしね。オビツ しかもパワポ専用ってわけじゃないですから、ネットもできるし、ソフトウェアアキーボードでの文字入力もOK。画面の右に表示されているツールボックスには描画ツールもあるので、**絵や文字だって書けますよ(6)**。  
ミヤザワ 操作性はどうなんだ？  
オビツ これが驚くほどスムーズ。文字を書くにもタイムラグがないし、描画ツールはウインドウズにインストールされている「ペイント」をもっと簡素化した感じで、使い方も超簡単。しかもワイヤレスだから、大きな動きで注目箇所に文字を書き加える、なんてカッコいいプレゼンもできる！(7)  
こんなふうに写真に文字を書いて、強力にアピール！(8)

ミヤザワ こんなのアピールになるか！ところでこうやって文字を書いた画面って保存できるの？  
オビツ もちろんです。JPEG形式なので後で修正はできませんが、**専用のモードにして、書いた文字や線画などを記録するオリジナルのファイル形式で保存すれば、後からの修正も可能です。**  
ミヤザワ そりゃ便利だな。でもこんなにハイテクだと値段も……。  
オビツ 確かにこの手の製品、30万円台なんてのもありますが、なんとコレ、10万円を切るんです！これを使いこなして達人級のプレゼンを披露しようかと！  
ミヤザワ あっそうだ。この前の原稿、2時間後に、よろしく！  
オビツ あの時、プレゼンが……。  
ミヤザワ 急で悪いな。じゃ！  
オビツ ちょ、ちょ、待って、ひえー！現実にはインタラクティブじゃなくて一方なんだよな！